

はじめに

奈良県立野外活動センター
所長 松浦 俊幸

野外活動センターは、昭和44年に開設され、今年度で57年となりました。これまでに、学校関係をはじめ青少年団体や家族利用などにおいて多くの皆さまにご利用いただいておりますこと心より感謝申し上げます。

当センターは、「子どもから大人まで幅広い年代の人々が、豊かな自然のなかで、野外活動を通して、日常では味わえない充実した時間を過ごし、満足を得られる施設」となることを目指して運営しています。

また、センター全体を奈良県植栽計画のエリアと位置づけており、支障木などの伐採による森林環境の魅力向上をはじめ、広葉樹を中心とした植樹による彩りある景観づくりなど、県で推進しているスイス型森林管理を取り入れた森林整備により、森林の機能を体験・学習できる拠点施設として魅力の向上に取り組んでおり、引き続き安全・安心・快適に利用していただけるように努めています。

また、学校など団体向けプログラムとして、野外活動プログラム（野外自炊、フィールドアスレチック、自然観察、キャンプファイアー等）、創作活動プログラム（クラフト、食文化体験（ピザ、バームクーヘンづくり等））、森林環境教育プログラム（森林観察ハイキング、伐採見学等）など多彩なプログラムを提供し、利用者のご要望に応えています。

主催事業では、11月の「NARA森あそびフェスタ」開催のほか、「はやま四季とのふれあい」、「はやま森の学校」、「ガーデンハウス in はやま」、「もりのようちえん」、「森のめぐみであそぼう!」、「ハンターから逃げ切れ! サバイバルおにごっこ」など、年間を通し、四季折々の状況を生かした、楽しく魅力的なプログラムを実施し、多くの皆さまにご参加いただいているところです。

今後とも、施設設備環境の改善につとめるとともに、各種イベントプログラムの更新をほかり、今以上に魅力的で充実した内容を目指して、多くの皆さまに利用していただけるよう、所員一同、精一杯取り組んでまいりますので、より一層のご利用をお願い申し上げます。

なお、この「令和7年度事業報告書『体験の宝庫』」は、昨年度より電子媒体をWebに公開する手法によりご案内させていただいております。

この一年間におけるセンターの活動を振り返り、皆さまにセンターの活動内容や魅力を知っていただくために作成しておりますので、より多くの方々に、この報告書をご覧いただき、今後、センターを利用するきっかけにいただければ幸いです。

令和8年3月